

兵庫県立兵庫県立考古博物館 和田晴吾

はじめに

- ・今年度は、宇治川北岸に分布する**宇治古墳群**のうち、二子山古墳の南墳・北墳、および二子塚古墳の外堤が**国の史跡**になった記念すべき日
- ・二子塚発掘 - 1968年（昭和43）京都大学考古学研究室 - 2回生で見学
- ・今日の話 - 南山城の古墳の築造状況から見た宇治古墳群 - 古墳とは何か

1 古墳について

- ・ **4種類**の形（前方後円墳、前方後方墳、円墳、方墳） 規模（10m～500m余り）
- ・ 鹿児島県～岩手県南部（図1） **水稻農耕社会**が基盤 16万基を越す
前方後円墳約4700基（含・帆立約500基） 前方後方約500基
- ・ 古墳時代 - 前方後円墳が造られた時代 - 3世紀中葉～6世紀末
古墳は形と規模を基準に一定の秩序 - **ヤマト王権の身分秩序を反映**

2 古墳の変遷

- ・ 時期により前方後円墳の形や副葬品の内容に変化 - **11期**（図2）
- ・ 基本4種の消長、古墳群の消長などから **5段階**、**3時期**（前・中・後）
区分の切っ掛けは南山城の古墳の築造状況に

3 南山城の古墳

- (1) 分布（図3）木津川両岸に - 椿井大塚山古墳、久津川車塚古墳など
 - ・ 旧巨椋池以南に約500基（前方後円墳20基、前方後方墳6基ほど）
- (2) 時期的変化 **激しい消長**（成立 - 衰退 - 消滅 - 移動）が特徴（図4）
 - ・ 6つの画期（出現と消滅を加える）を経た5つの段階（表1）
 - 前期 第1 - 前方後円墳の出現、第2 - 前方後円（方）墳の急増、
 - 中期 第3 - 前方後円墳限定、帆立貝・円墳・方墳化（図5）
 - 後期 第4 - 中期的秩序衰退変質、第5 - 群集墳の激増
- (3) 各地の古墳群と連動
 - ・ **大王の墓域の移動** 前期前半 - 奈良盆地南東部 - オオヤマト古墳群
 - 前期後半 - 奈良盆地北部 - 佐紀古墳群
 - 中期 - 大阪平野南部 - 古市・百舌鳥古墳群
 - 後期 - 大阪南部衰退 - 同北部 - 奈良南部

4 古墳の動向（築造状況）の評価

- ・南山城の古墳の動向は、大王の墓域の移動とも関連し、全国的動向
- ・前期後半に急増した首長を、中期には序列化し、大王を頂点とした一部の有力者が数多くの中小首長を支配、後期にその体制が解体し、民衆をも支配に組みこむ（公民化）新しい体制へ

（4）宇治古墳群（図6）

第2 観音山（50/2-3期） - （黄金塚1（100/3-4期）・同2（120/4期）

第3 - 二子山北墳（36/5期） - 南墳（34/8期） - 宇治瓦塚（30/8・9期）

第4 - 二子塚（112/9-10期） - 門ノ前（35/11期） 木幡古墳群（群集墳）

- ・二子塚古墳に個性（中期～後期の第3の画期・淀川水系の要衝）

5 古墳が表現するもの

- ・古墳は墓だが、墓以上のもの - 以上は政治社会的解釈 - **支配の可視化**
- ・思想・信仰上の解釈 - 埋葬後に墳丘表面に一つの世界が表現された
墳輪（土や木） - 日本の古墳に独特のもの（図7）
- ・門ノ前古墳 - 朝顔形墳輪、円筒墳輪 - 飲食物を入れた壺と、器台
家（墳輪の中心、入母屋・寄棟、切妻など） - 敷（図9）
威信具（蓋[きぬがさ]、玉状形[石見]） 権威ある屋敷
武器（靱、大刀）・武具（盾） - 防御堅固 - 辟邪
鳥 - （鶏、水鳥） - 他界と関係が深い
人物（5+、男性ほか） 動物（馬、猪ほか）
- 首長の屋敷で奉仕する人や馬、狩猟の獲物）
- ・墳丘表面の世界（中期中葉） - **死者が赴く他界（あの世）の可視化**
- ・**他界の入口** - 造出周辺（奈良県ナガレ山古墳、兵庫県池田古墳）船、囿（水）
- ・死者の魂は船に乗で他界へ赴く観念（図11・13）『隋書』倭国伝：遺体を船に乗せて地上で引く（奈良県巢山古墳・図12）**古墳時代の葬列**
- ・**墳輪配列の筋書**（図8）

6 同族社会と祖先崇拜

- ・古墳 - 1人の首長（一族の長） - 首長が代表する**血縁集団** - 社会の単位
- ・重んじられた祖先崇拜・**祖先信仰**
- ・亡き首長の冥福を祈り盛大な葬送儀礼を執行 - **古墳は舞台装置の一部**

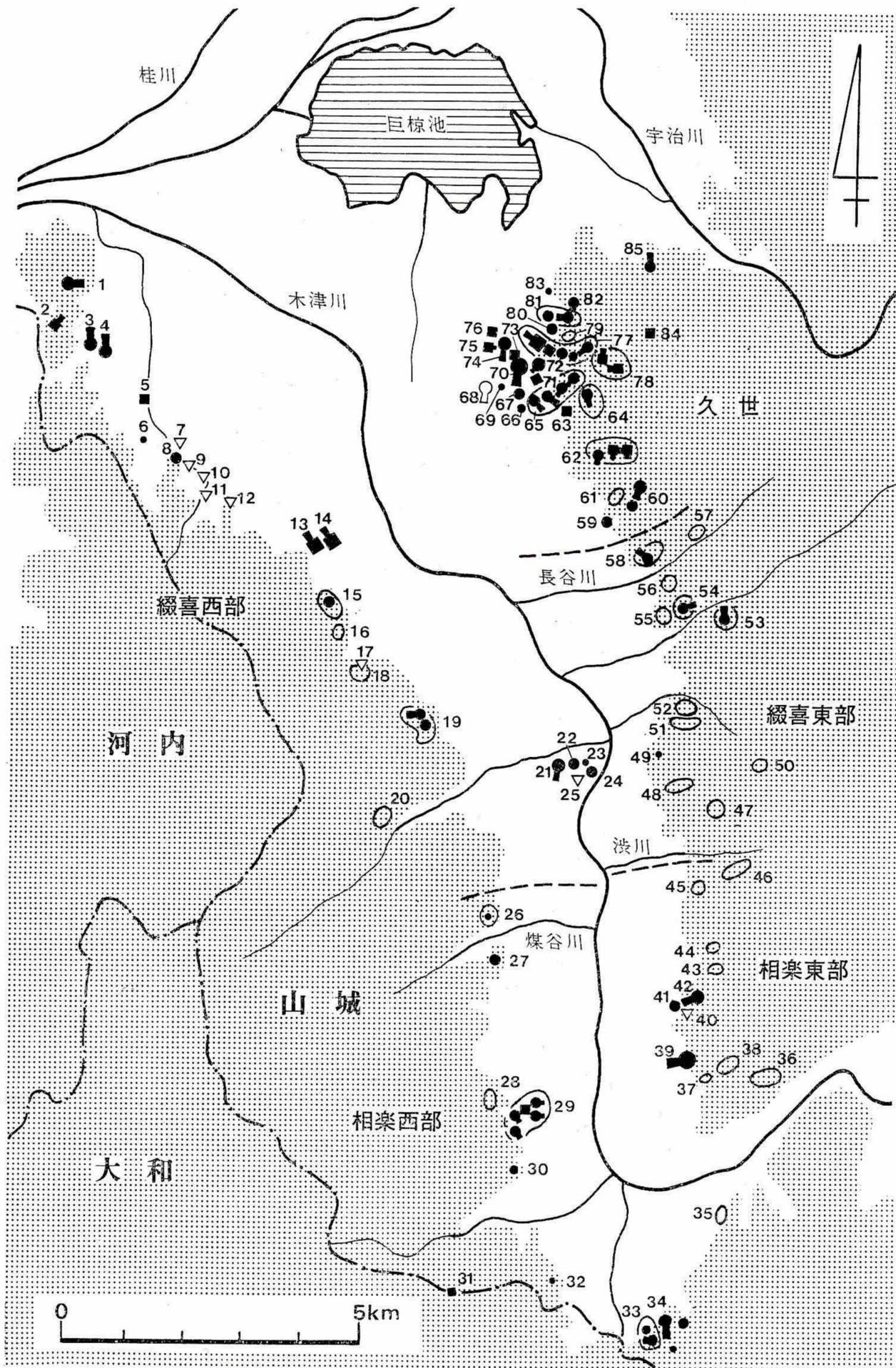
おわりに

- ・前方後円墳の消滅 - 古墳的他界観の衰退 - **仏教的他界観（浄土信仰）**
（参考文献：和田晴吾 2014 『古墳時代の葬制と他界観』吉川弘文館）

種類	墳丘	円筒埴輪	中国製鏡	鏡	玉杖	碧玉製腕飾類	石製模造品	銅鏡
推定時期	前方後円墳		三角縁神獸鏡	小型仿製鏡				
三世紀(後半)	前					車輪石 楸形石	石銅	筒形銅器
	四							巴形銅器
四世紀	三							刀子 鏡・鑿
	四							容器 直刃鎌
五世紀	中							
	六					多色ガラス玉 雁木玉	金銅製玉 空玉	曲刃鎌 有孔円板
五世紀	七					同型鏡群	鈴鏡 トンボ玉	
	八							
六世紀	九							
	一〇							
後								
六世紀								
一								

鐵製農工具	甲	青	鐵鍬	刀劍	金屬製裝身具
短冊形 折曲鍬先	短甲	小札革綴青		素環頭大刀	
鐵斧		堅矧板 革綴式			
	方形板 革綴式				
直刃鎌	長方板 革綴式				
兼手刀子	三角板 革綴式	衝角付青 革綴式			鹿角裝刀劍裝具
曲刃鎌	三角板 鉄留式	盾庇付 青			木心鉄板張 輪盤
U字形 鍬先	横矧板 鉄留式	挂甲 鉄留式			帶金具 垂飾付 耳飾
					冠帽
					三輪玉
					杓子形 壺鏡
					鉄製 輪盤
					單電 單鳳 環頭
					三角錐形 壺鏡
					雙電 環頭
					円頭

図2 古墳時代編年図



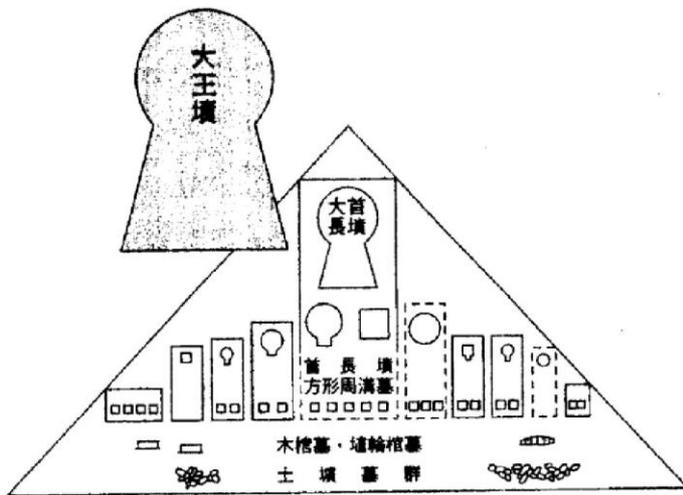
南山城の主要古墳 (古墳番号は図1・2の古墳番号に対応し、カッコ内の数値は古墳の規模をmで示す。)

- 1 石不動古墳(75) 2 八幡茶臼山古墳(50) 3 八幡西車塚古墳(115) 4 八幡東車塚古墳(94) 5 ヒル塚古墳(40) 6 西二子塚古墳 7 狐谷横穴群(11基・小型低方墳1基) 8 美濃山王塚古墳(60) 9 美濃山横穴群(4基) 10 女谷横穴群(5基) 11 荒坂横穴群(10基) 12 松井横穴群(19基) 13 大住南塚古墳(71) 14 大住車塚古墳(66) 15 郷土塚古墳群(8基・2号墳30) 16 畑山古墳群(3基) 17 堀切横穴群(10基) 18 堀切古墳群(10基・7号墳15) 19 興戸古墳群(4基・1号墳19・2号墳27) 20 下司古墳群(8基) 21 飯岡車塚古墳(81) 22 ゴロゴロ山古墳(60) 23 東原古墳 24 トツカ古墳(20) 25 飯岡横穴群(2基) 26 平谷古墳 27 鞍岡山古墳(40) 28 畑ノ前古墳群(7基) 29 吐師七ツ塚古墳群(5基・2号墳26+・3号墳31・4号墳35・5号墳28) 30 白山古墳(16) 31 石のカロト古墳(14) 32 音乗谷古墳 33 上人ヶ平古墳群(4基・他に小型低方墳8基・1号墳18・5号墳24) 34 瓦谷古墳(付近に小型低方墳2基・埴輪円筒棺4基) 35 内山田古墳群(小型低方墳3基) 36 千両古墳群(6基) 37 松尾古墳群(2基) 38 宮城谷古墳群(13基) 39 椿井大塚山古墳(170) 40 北谷横穴群(2基) 41 平尾稲荷山古墳(33) 42 平尾城山古墳(110) 43 萩谷古墳群(4基) 44 笛吹古墳群(2基) 45 山際古墳群(3基) 46 車谷古墳群(9基) 47 弥勒古墳群(5基) 48 高月古墳群(5基) 49 北大塚古墳 50 小玉岩古墳群(3基) 51 上堂古墳群(6基) 52 天王山古墳群(9基) 53 青谷丸山古墳群(4基・1号墳30) 54 石神古墳群(6基・1号墳40) 55 天満宮古墳群(7基) 56 黒土古墳群(9基) 57 長谷山古墳群(3基以上) 58 青山古墳群(2基以上・1号墳30) 59 長池古墳(50) 60 梅ノ子塚古墳群(2基・1号墳87・2号墳42) 61 芝山古墳群(6基・他に小型低方墳4基) 62 宮ノ平古墳群(3基・1号墳27・2号墳39・3号墳38・付近に小型低方墳2基) 63 尼塚古墳(40) 64 尼塚古墳群(7基・2号墳16・3号墳18・4号墳35) 65 芝ヶ原古墳群(12基・付近に小型低方墳5基・5号墳34・6号墳45・9号墳25・10号墳42・11号墳67) 66 惠美塚古墳(16) 67 赤塚古墳(27) 68 箱塚古墳(約100) 69 東垣内古墳 70 久津川車塚古墳(180) 71 山道古墳(35+) 72 丸塚古墳(80) 73 梶塚古墳(50) 74 芭蕉塚古墳(110) 75 青塚古墳(49) 76 大竹古墳(70か) 77 西山古墳群(8基・1号墳80・2号墳27・4号墳35・7号墳60) 78 上大谷古墳群(19基・1号墳30・8号墳33) 79 下大谷古墳群(2基・1号墳18・2号墳17) 80 金比羅山古墳(40) 81 坊主山古墳(3基・1号墳45・2号墳25) 82 庵寺山古墳(56) 83 一里山古墳 84 宇治一本松古墳(28) 85 宇治丸山古墳(37)

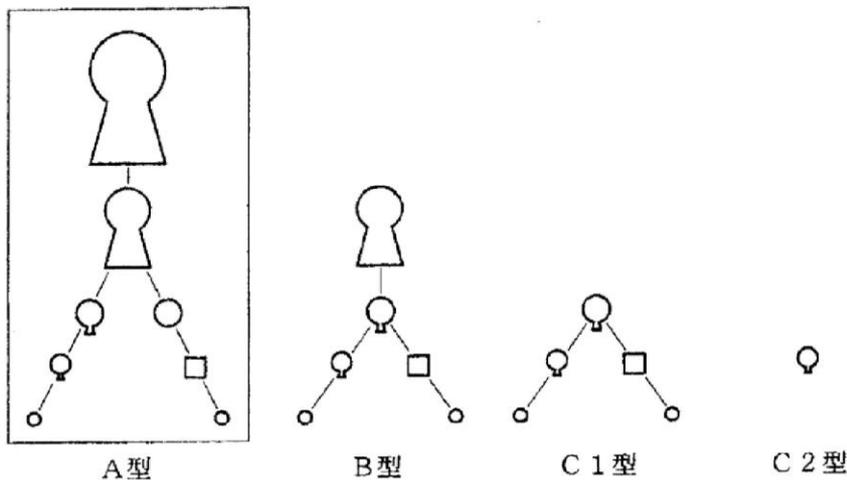
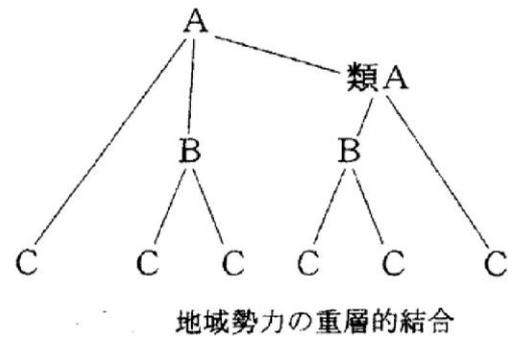
図3 南山城の古墳分布図

表1 古墳時代の五つの段階・六つの画期

時代	時期	小期	段階	画期	主要な古墳の動向
弥生時代					
古墳時代	前期	1・2	第1	第1	前方後円(方)墳の出現
		3・4	第2	第2	前方後円(方)墳の急増
	中期	5~8	第3	第3	前方後円墳の築造規制開始・前方後方墳の消滅
		9・10	第4	第4	大型古墳群の衰退・中小前方後円墳の増加・方墳の消滅・古式群集墳の出現
	後期	11	第5	第5	前方後円墳の段階的消滅開始・新式群集墳の激増
飛鳥時代					
				第6	前方後円墳の消滅・新式群集墳の衰退・終末式群集墳の出現



中期古墳の階層構成



中期における地域古墳群の諸類型

図5 中期古墳の秩序(組合せ)

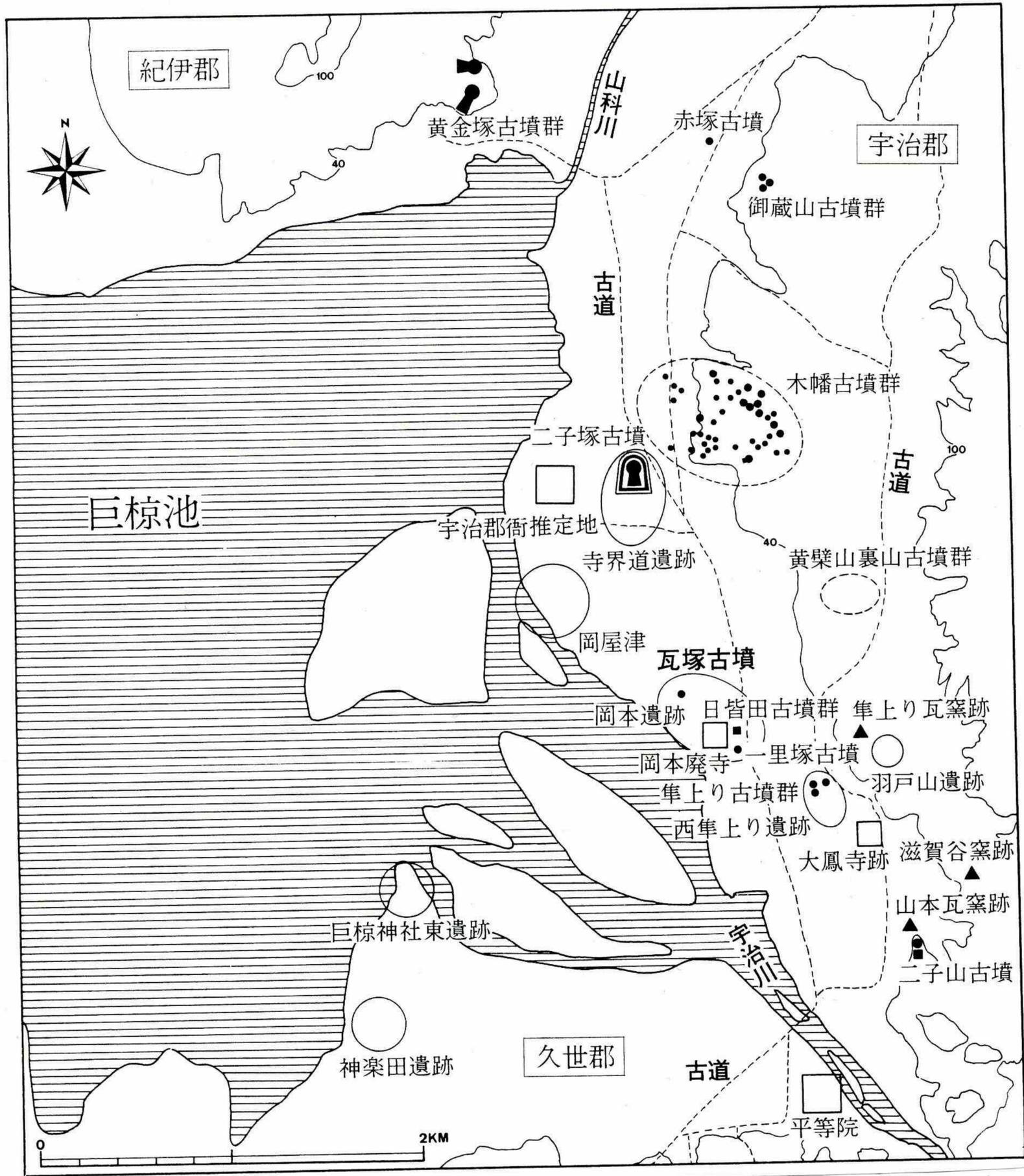


図6 宇治古墳群周辺の古代の景観と主要遺跡[宇治市 1988]

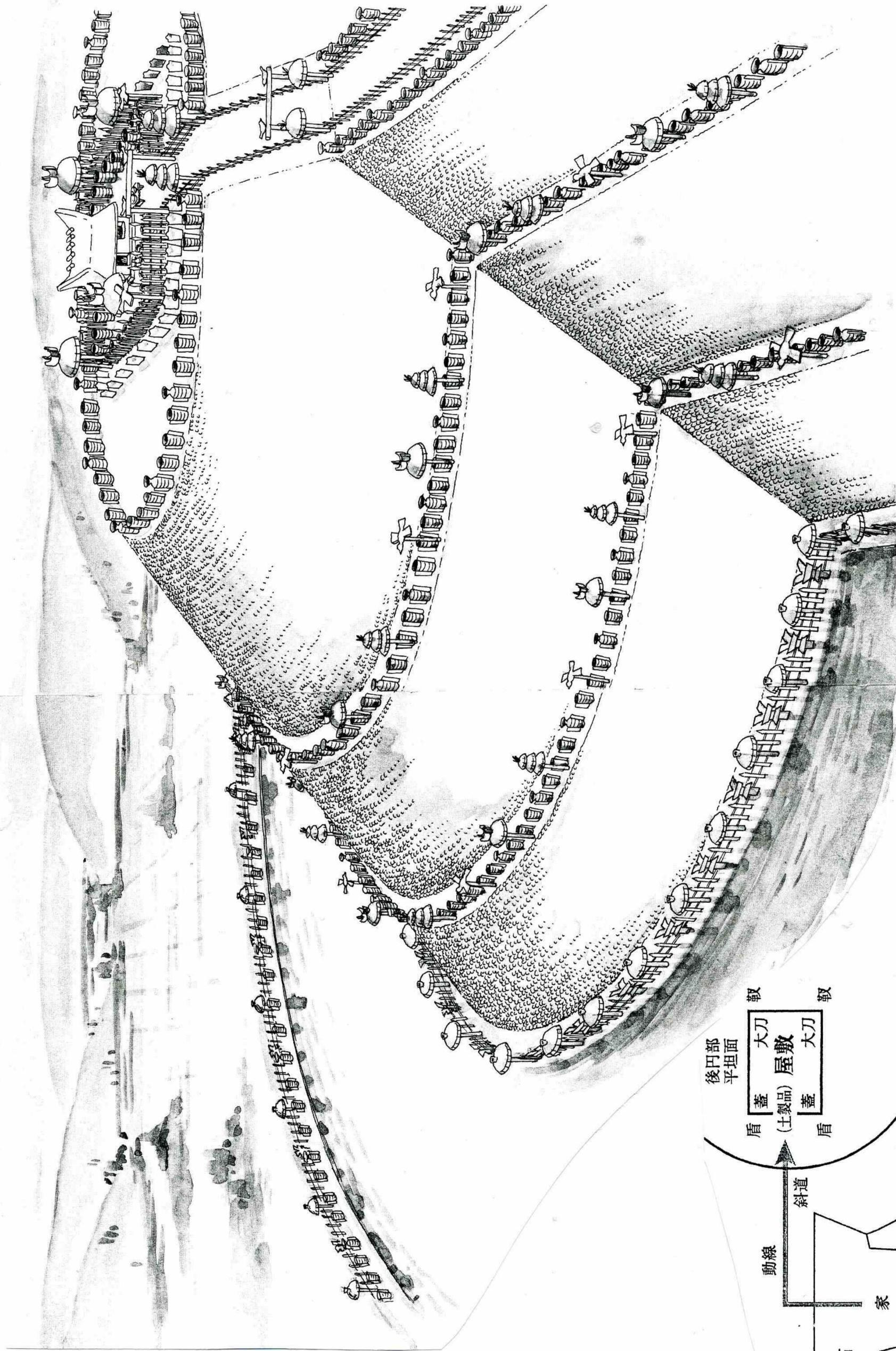


図7 古墳の表面に表現された世界[白石編 1990・早川和子原図]

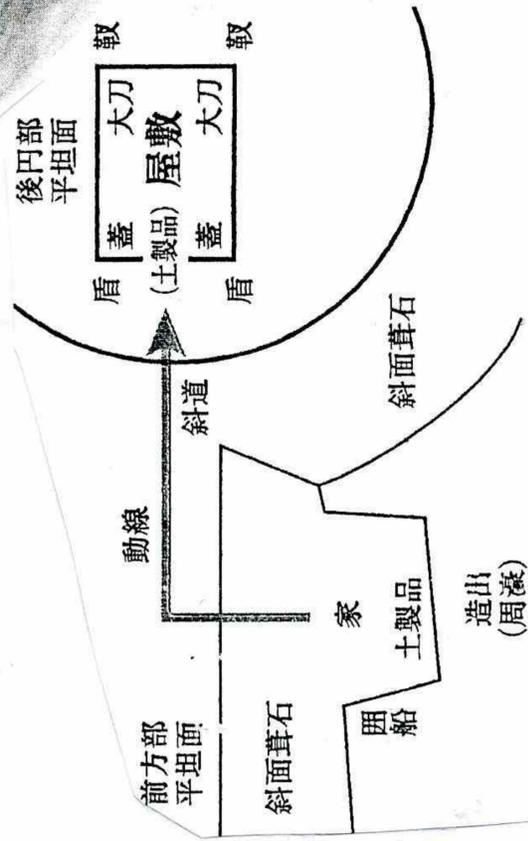


図8 形象埴輪配列概念図 (中期前葉)

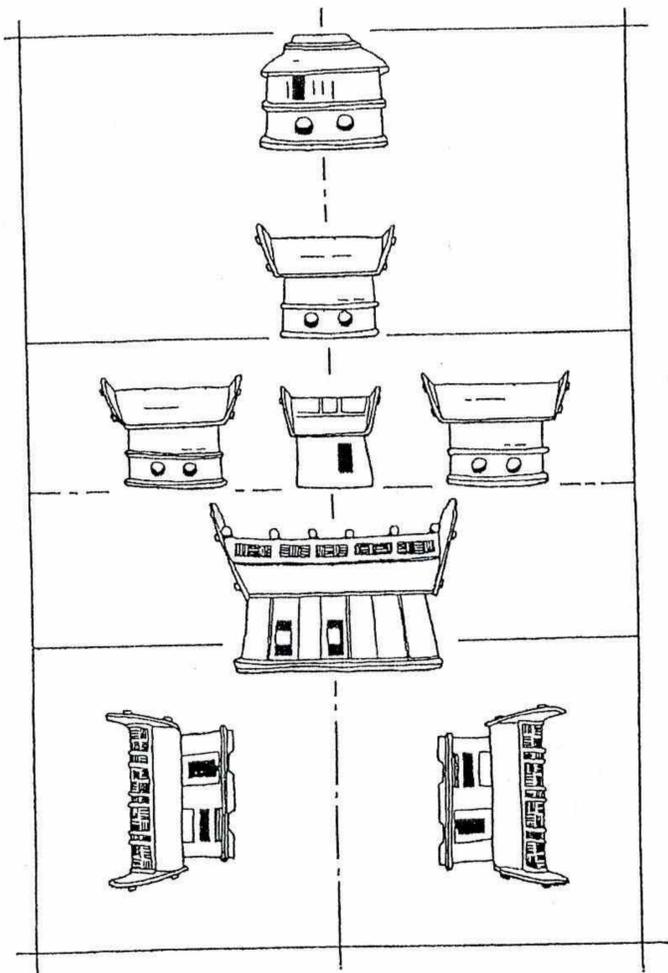


図9 群馬県赤堀茶臼山古墳の家形埴輪配置
復原藤澤案[野上 1976]

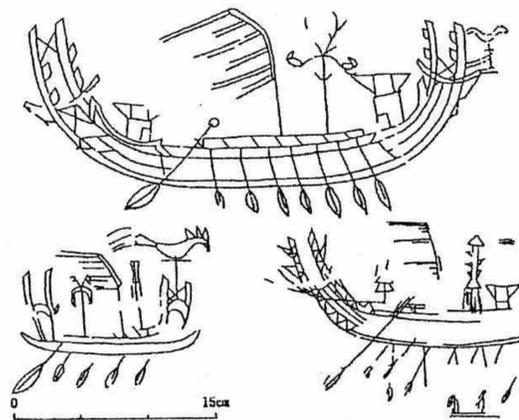


図11 奈良県東殿塚古墳出土埴輪の
へら描きの船[松本他 2000]

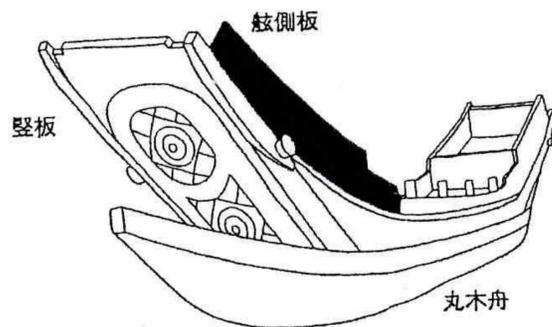


図12 奈良県巢山古墳出土船形木製品
の復元図[井上 2006]

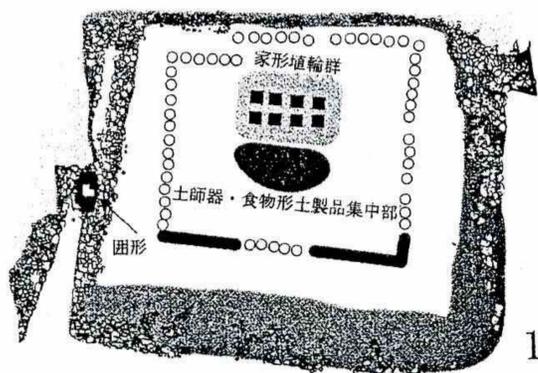


図10 1 兵庫県行者塚古墳西造出の復元模式図[三重 2005]
2 出土の土師器高杯・笄形土器・土製品[菱田他 1997]

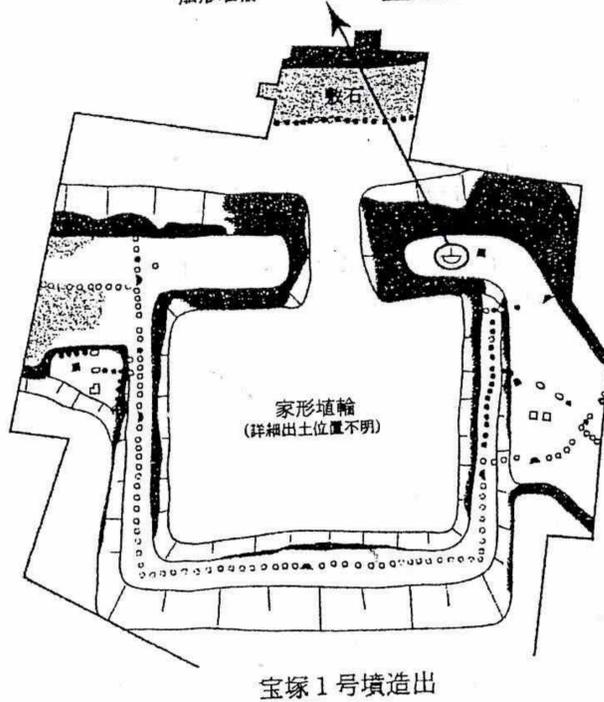
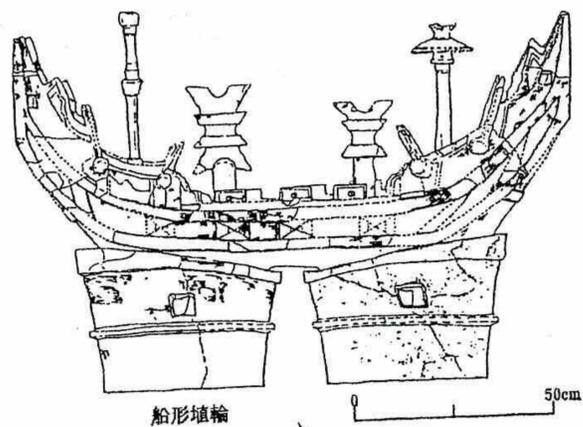


図13 三重県宝塚1号墳の出島状造出模式図
[三重 2005]と舟形埴輪[福田他 2001]